

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	基礎ゼミⅡ						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	建築・デザイン学科教員全員、鶴野幸子						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築・デザインの多様な広がり理解し、そのための基礎的な能力の向上を図ることができる。(A6) ・コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の大切さを理解して活用できる。(A6) ・自主的・継続的な学習習慣の大切さを理解して、4年間の学生生活を計画し取り組むことができる。(A6) ・将来の専門家像(建築技術者・建築家・デザイナー)を視野に入れながら、各自の学習課題および就職計画に取り組むことができる。(A6) 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法。「実施要領」を配布し、詳しい解説を行う。</p> <p>第2回：建築・デザイン学科とは 建築・デザイン学科のコース選択について 資格及び就職について</p> <p>第3回：グループ活動による課題研究1[教員A]</p> <p>第4回：同2</p> <p>第5回：同3</p> <p>第6回：同4</p> <p>第7回：グループ活動による課題研究1[教員B]</p> <p>第8回：同2</p> <p>第9回：同3</p> <p>第10回：同4</p> <p>第11回：グループ活動による課題研究1[教員C]</p> <p>第12回：同2</p> <p>第13回：同3</p> <p>第14回：同4</p> <p>第15回：まとめ、レポートの提出</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	100%		プレゼンテーション			
	課題			計		100%	
	演習						
授業到達目標の達成度	ほぼ達成できた。						
反省点	この科目は複数の教員が担当してそれぞれ課題を出題し採点を行っているが、採点の平均値には教員間で若干の差異が認められる。今回は、生点で評価したが、平均値に大きな違いがある場合には補正することも考える必要がある。						
来年度の計画	今年度の方法を継承する予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	自由記述には、「コミュニケーション能力が向上した」、「複数の教員に接し、様々な考え方を知ることができた」など、肯定的な意見のみであった。 アンケート集計結果に関しては、総合評価が8.5点でその他の設問に関しても4.2点以上と高い評価であった。						
履修登録者数	93名	定期試験 受験者数	82名	合格者数	82名	合格率	100%